

## 平成23年度 第2回宇部市地域自立支援協議会（会議録）

日 時:平成23年11月25日(金) 19:00~20:30

場 所:宇部市役所 4階 委員会室

欠席者:有田信二郎委員、宮田康雄委員、西村信正委員

出席者:別紙委員名簿から欠席3委員を除く17委員

市 :健康福祉部 落合部長、白石次長

障害福祉課 中野課長、松谷補佐、正木係長、  
奥村係長、川崎主査、實安主任、  
中島主任

### ◆ はじめに

#### (1) 市健康福祉部 部長挨拶

第3期宇部市障害福祉計画の素案が、障害者団体やサービス提供事業所のヒアリングなどを踏まえて作成することができました。医療、福祉、保健のさまざまな分野が大きく変動している中で、いろいろ協議しながら計画を作っていきたいと考えていますので、皆様のご意見をいただきたいと思っております。

#### (2) 新委員の紹介

宇部市民生児童委員協議会 伊藤文子委員を紹介した。

### ◆ 議事

#### 1 「第3期宇部市障害福祉計画」の策定について

##### (1) 素案について

<概要> 事務局(障害福祉課)から、資料1に基づいて説明した。

計画の項目に基づいて、①計画の概要、②障害者等の状況、③第2期計画の進捗状況と課題、④第3期計画の数値目標の設定と方策、⑤計画の推進に向けての順に説明した。なお、今後の計画の推進については、障害者総合福祉法(仮称)の動向を踏まえながら、実施計画を作成して取り組むことを説明した。

##### <質疑応答及び要望など>

- ・ 計画の名称については、「障害福祉計画」と「障害者福祉計画」が判りづらいため、「障害福祉サービス計画(仮称)」とし、協議会で検討した結果、第3期計画の名称は、事務局の提案のとおり、「障害福祉サービス計画」と決定した。
- ・ 精神障害者の数値目標の設定については、数値目標の設定がなく、方策のみを記載していることについて質問が出され、精神障害者に係る数値目標については、県で設定するものであり、市では、これまでの取り組みを強化するために方策を載せていることを説明した。
- ・ 地域移行支援と地域定着支援の違いについて、事務局から説明した。
- ・ 就労継続支援B型のサービス見込量が減少していることについて質問が出され、重点項目の推進に向け、就労移行支援や就労継続支援A型を増やす見込みであることを、事務局から説明した。
- ・ 地域活動支援センターについては、現在、運営費補助を受けて事業を実施している法人の委員から、事業の再編により、24年4月には、法人としてのニーズがなくなる予定との意見が出された。
- ・ この計画を円滑に進めるため、事業予算の確保についての要望があった。

<検討結果> この素案に基づいて、計画の策定作業を進めることで了承された。

(2) 今後のスケジュールについて

<概要> 事務局から、資料2に基づいて、今後の計画策定までのスケジュールを説明した。

<質疑応答及び要望など>

この計画における説明会の広報などについて質問が出され、2回開催する説明会について、市広報の12月1日号に掲載する予定であり、障害者関係団体及びサービス事業所などにも説明会のご案内の文書を送付する予定であることを、事務局から説明した。

<検討結果>

このスケジュールに基づいて、計画の策定作業を進めることで了承された。

(3) その他

資料13の「計画骨子への意見」について、事務局から説明した。

2 障がい等地域支援ブロック会議及び地域課題の報告について

(1) 障がい等地域支援ブロック会議について

<概要> 事務局から、障がい等地域支援ブロック会議の開催状況を、資料5に基づいて説明した。

またブロック会議からの地域課題として、「事業所が利用者の対応方法等の情報を、以前の事業所からスムーズに収集することが難しい」という課題を提案した。  
(資料6及び6-①)

<検討結果> 提案した地域課題については、市の地域課題であることが協議会で承認され、今後の課題協議の検討は、市が中心となって進め、その課題解決の方策等の結果については、本協議会に報告していくこととなった。

(2) 「地域課題」継続検討分の報告(第1回協議会での地域課題2件)

<概要1> 「障害者の防災体制に関する課題」については、資料7及び7-①のとおり、任意の検討会議「障害者の防災体制の課題に関する検討会」(平成23年度に5月から11月まで6回開催)を設け、課題解決に向けて検討した。その結果を任意会議の事務局を務めた市担当者から報告した。

<検討結果1> 検討会での検討結果については、現在防災危機管理課が中心となって進めている「市民と協働した災害に強い街づくりに向けた検討協議会」において反映することとし、この検討会議については、今後、必要に応じて開催することとなった。

<概要2> 「相談支援体制の周知、相談機関の連携に関する課題」については、資料7-②に基づいて、「合同ネットワーク」において検討された結果について、ふなき生活支援センター副管理者の牧委員から報告があった。

< 検討結果2 > 今後継続しての協議がされることとなった。

### 3 第三次宇部市障害者福祉計画について

< 概要 > 事務局から、平成 23 年3月に策定した標記計画の実施スケジュールを、資料8に基づいて説明した。

### 4 その他

< 概要 > 事務局から、資料9～11 及びパンフレットを説明した。

- ・ 障害福祉に関する制度改正の動向(資料9)
- ・ 生活のしづらさなどに関する調査(資料10)
- ・ 第12回宇部市障害支援者交流の集い(資料11)
- ・ パーソナル手帳の啓発パンフレットの説明(資料12)

### < 質疑応答 >

「第12回宇部市障害支援者交流の集い」の主催者である「うべ障害者支援士業ネットワーク」の組織について質問が出され、弁護士、司法書士、行政書士、社会保険労務士等の「士」がつく職業の人が、障害福祉の様々な問題を解決するために、23年6月に発足した任意の団体であることを事務局から説明した。

### ◆ おわりに

市健康福祉部 次長挨拶

今日はいろいろな項目につきまして、活発なご議論をいただきありがとうございました。皆様からのご意見を事務局で検討させていただき、障害福祉サービス計画を、12月8日から12月28日までのパブリックコメントにより、市民の方にお示していきます。

なお、パブリックコメントで出されたご意見については、対応を公表して、最終的には年度末までに障害福祉サービス計画を作成していく予定です。

障害福祉サービス計画を実施するためには、予算が必要ですが、宇部市の財政状況が大変厳しい中、頑張っって予算を確保したいと思っています。